

## 「本を読むことの大切さ」

図書委員長 5年2組 熊坂 玲那

突然ですが、皆さんは1年間で何冊本を読んでいますか。100冊を超えている人もいれば、数冊という人もいるでしょう。そういう私も、高校生になってからは、本を読む時間が少なくなってしまいました。

そこで、Flier社の「読書による14の効果」という文章を参考にして、私なりに「本を読む大切さ」を三つにまとめてみました。

一つ目は、知識や情報を得ることができるということです。色々な本を通じて、新しい事柄や概念を学び、自己成長や学びを深めることとなります。また、本を通じて世界の多様性や複雑さを理解し、広い視野を持つことができます。

二つ目は、読解力や言語能力の向上につながるということです。複雑な文章や難解な構造を理解する訓練は、脳の活性化や言語能力の向上につながります。また、読書はコミュニケーションの向上にもつながり、正確かつ適切な表現力を身に付けることができます。文章を通して情報を効果的に伝える能力は、様々な場面で生かされるでしょう。この先の入学試験や就職活動の際などに役立つかもしれませんよ。

三つ目は、想像力と創造力の育成です。読書は、読者自身が物語の世界や登場人物の感情を想像する機会を提供します。読者は、文章や描写から、独自のイメージや感情を膨らませることで、想像力や創造力を豊かにすることができます。新しいアイデアや視点を得ることで、問題解決能力や創造性が向上し、日常生活や仕事において、創造的な発想を生み出すことが可能になります。

以上のように、本を読むことは、知的・精神的な成長や豊かな人間性を育む上で、極めて重要は役割を果たします。

最後に、本を読むことは、日常のストレスや疲れを軽減し、心身のリラックス効果をもたらすことが知られています。現代の日本は、ストレス社会とも言われるくらい、ストレスをためやすい時代になっています。学生のうちは、成績や自分の将来についての進路のことで、たくさん思い悩むことでしょう。そういうものが積み重なって行って、苦しくなることもあると思います。そんなときは、いったんすべてを忘れて、本を読んでみてはどうでしょうか。自分の中で、区切りをつけて休むことも大切だと思います。

この話を読んで、もし読書に興味を持った人がいれば、図書館に足を運んでみてください。あなたにぴったりの本が必ずあるはずです。

## ～7月の新刊紹介～

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| ○ 『クスノキの女神』                     | 東野圭吾【著】    |
| ○ 『イタリア女子が沼ったジワる日本語』            | テン・リッザー【著】 |
| ○ 『まんがで読破 戦争と平和』                | トルストイ【原】   |
| ○ 『まんがで読破 資本論』                  | マルクス【原】    |
| ○ 『京都寺町三条のホームズ メランコリックな異邦人』     | 望月麻衣【著】    |
| ○ 『燕は戻ってこない』                    | 桐野夏生【著】    |
| ○ 『傘のさし方がわからない』『国道沿いで、大丈夫100回』  | 岸田奈美【著】    |
| ○ 『小説 葬送のフリーレン～前奏～』             | 八目迷【著】     |
| ○ 『響け！ユーフォニアム北宇治高校吹奏楽部 決意の最終楽章』 | 武田綾乃【著】    |
| ○ 『新 店長がバカすぎて』                  | 早見和真【著】    |
| ○ 『ぼくたちの幸せな記憶喪失』                | 春田モカ【著】    |
| ● 『短物語』                         | 西尾維新【著】    |
| ● 『俺ではない炎上』                     | 朝倉秋成【著】    |
| ● 『ドキュメント』                      | 湊かなえ【著】    |
| ○ 『アトム的心臓 「ディア・ファミリー」23年間の記録』   | 清武英利【著】    |
| ○ 『もしもし、こちらは夜です』                | 宮田ナノ【著】    |
| ● 『仮面山荘殺人事件 新装版』                | 東野圭吾【著】    |
- (●は、まだ入荷していません。)

## ☆20年ぶりに新札発行！

7月3日に新札が発行されました。新札の図柄になった「**渋沢栄一**」（日本の資本主義の父）や「**津田梅子**」（津田塾大学の創始者）「**北里柴三郎**」（日本における近代医学の父）に関する本を、図書館の中央に並べています。本を読んで、どんな人だったのか調べてみませんか？

### 夏休みの開館について

- |          |   |
|----------|---|
| ☆開館日     | 7月23日（火）～7月31日（水）<br>（但し、木曜日は閉館します。）<br>（30日は、会議のため、12時以降は利用できません。） |
| ☆開館時間    | 11:30～16:30   |
| ☆貸出しについて | 貸出しの方法は通常と同じですが、3冊以上借りることも可能ですので、その場合は声をかけてください。                    |
| ☆本の返却日   | 借りている本は、2学期の始業式（8月26日《月》）に返却してください。                                 |

